

# ひらきまつり！

寒い冬に、アツアツなイベント尽くしの3日間がやってきます！  
五感を使った茶会に、手で触れる作品鑑賞プログラム、  
点字とデザインについて考えるトークセッションや、  
音に着目したワークショップまで。  
障害のある方もない方もいろんな感覚をつかいながら、  
美術館でのひと時をいっしょに過ごしませんか。  
※一部のプログラムは、事前のお申し込みが必要となります。

**会 場** いずれも京都国立近代美術館  
**対 象** どなたでも（視覚障害、聴覚障害のある方のご参加も歓迎します）  
**参加費** 無料 ※2月8日「手だけが知ってる美術館」に参加される方は、  
「ニーノ・カルーン展」の観覧券を事前にご準備ください。

## プログラム

2月7日 金

14:00-15:30 茶会ワークショップ『記憶の空間を旅しよう』  
17:30-19:30 トークセッション「点字でチラシをつくるとは」

2月8日 土

10:30-12:00 手だけが知ってる美術館 第3回 ニーノ・カルーンの陶芸  
13:30-15:00 茶会ワークショップ『記憶の空間を旅しよう』  
16:00-18:00 講演会「五感と記憶がつくる建築・空間」

2月9日 日

10:00-12:00 音のズームレンズAntenna（アンテナ）を使って岡崎まちあるき！  
※手話通訳あり  
13:00-17:00 萌えいずる声 百瀬文《聞こえない木下さんに聞きたいいくつかのこと》  
上映・シンポジウム ※手話通訳・要約筆記あり

「感覚をひらく―新たな美術鑑賞プログラム創造推進事業」とは？

京都国立近代美術館では、地域の盲学校、大学等と連携して、「みる」ことを中心としてきた美術館での体験を問い直し、誰もが美術館を訪れ、経験できるようなプログラムを創造・構築する取り組みを行っています。美術館と鑑賞者が協働し、さまざまな試みに挑戦しながら、美術鑑賞の新たな可能性を探っています。

実 施 中 核 館：京都国立近代美術館  
その他の協力機関：愛知教育大学、京都教育大学、きょうと障害者文化芸術推進機構、京都市立芸術大学、  
京都府立盲学校、群馬大学、国立民族学博物館、三重県総合博物館（以上、五十音順）

 平成31年度 文化庁 地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業

京 都 国 立 近 代 美 術 館 オ ー プ ン デ ー 2 0 2 0

# ひらきまつり

2020. 2/7 (Fri.). 8 (Sat.). 9 (Sun.)

京都国立近代美術館

ワークショップ「記憶の空間を旅しよう」



Photo : Chikako Harada

Photo : Yehia Eweis

音や香り、味や手触りとともに思い出す、あなたの好きな場所がありますか？— このワークショップでは、みなさんに五感で味わうモノをご持参いただきます。フィンランドの森にあった古い小屋から齋藤さんが制作したティーセットを使って、「記憶の空間」へ旅にでるワークショップです。

日 時 | 2月7日(金) 14:00-16:00、2月8日(土) 13:00-15:00  
所要時間は30分程度です。グループに分かれて行いますので、集合時間は参加者に個別にお知らせします。  
対 象 | 小学生以上、どなたでも  
定 員 | 各日15名(事前申込制、希望者多数の場合は抽選)  
講 師 | 齋藤名穂(建築家・UNI DESIGN)  
参加費 | 無料  
申 込 | 要事前申込。詳細は下の「イベント申し込み方法」をご覧ください。

齋藤名穂 さいとう なお

建築家・デザイナー、UNI DESIGN主宰。「ルート・ブリュック 蝶の軌跡」展(2019)、「世界を変える美しい本ーインド・タラブリックスの挑戦」展(2017)会場構成(共にEurekaと共同)。「さわる小さな庭園美術館」、「五感と想像力で歩く建築ツアー」(2014 東京都庭園美術館)。「さわる赤のコレクション」(群馬県立近代美術館)、東京国立博物館本館の触知図、「Play, Paper, Scissor」(2007 アアルトミュージアム/ フィンランド)など。 <https://u-ni-design.com/>

イベント申し込み方法 事前申込が必要なイベントは、こちらのフォームよりお願いします。

お申し込みフォームURL [www.momak.go.jp/senses/form.html](http://www.momak.go.jp/senses/form.html)

受付期間 1月29日(水) 午後5時まで

※申込者多数の場合は抽選を行います。抽選結果のご連絡は1月31日(金)までに、お申し込みいただいた方全員にお知らせします。また、集合時間は後日ご連絡をいたします。

ウェブフォームからのお申し込みが難しい方・その他お問い合わせ先

京都国立近代美術館 教育普及室  
MAIL [learning@ma7.momak.go.jp](mailto:learning@ma7.momak.go.jp) TEL 075-761-4111(平日10時～17時まで) FAX 075-771-5792



トークセッション「点字でチラシをつくるとは」

「感覚をひらく」ではこれまで、視覚障害のある方にも晴眼者の方にも情報を届けるために、点字と墨字を使ったチラシデザインを試みてきました。このトークセッションでは、当事業のチラシ制作に関わられたデザイナーをお招きし、点字の入ったチラシをデザインする中で何を考えたかについて、それぞれお話をうかがいます。続いて、視覚障害のある当事者の立場からのコメントをいただきながら、点字を入れたチラシをつくることの意味を問い直します。

日 時 | 2月7日(金) 17:30-19:30  
会 場 | 京都国立近代美術館 1階講堂  
定 員 | 80名(当日16時から1階受付にて整理券配布)  
参加費 | 無料

プログラム

第1部 話題提供 西村祐一(Rimishuna) × 北原和規(UMMM) × 坂田佐武郎(Neki inc.)  
第2部 ディスカッション  
コメンテーター | 広瀬浩二郎(国立民族学博物館)、福井哲也(日本ライトハウス)

西村祐一  
にしむら ゆういち

1985年生まれ。藤村龍至建築設計事務所(現・RFA)、neucitora勤務を経て、2015年デザインスタジオ「Rimishuna」及びメディアプロジェクト「LOG/OUT project」の活動をはじめ。2018年パブリッシングレーベル「Rimishuna Books」より『Medium Logistics』を刊行。

広瀬浩二郎  
ひろせ こうじろう

国立民族学博物館准教授。筑波大学附属盲学校から京都大学に進学。同大学院にて文学博士号取得。専門は日本宗教史、触文化論。「ユニバーサル・ミュージアム」(誰もが楽しめる博物館)の実践的研究に取り組み、「さわる」をテーマとする各種イベントを全国で企画・実施している。最新刊の『触常者として生きる: 琵琶を持たない琵琶法師の旅』(伏流社)など、著書多数。

北原和規  
きたはら かずき

1981年大阪生まれ。2012年京都にてUMMM設立。様々な美術を中心に宣伝美術・企画・空間などを担う。近年の主な仕事として、KYOTOGRAPHIE、THEATRE E9 KYOTOのアートディレクション。2018年KIWI BOOK vol.2 刊行。芸術計画 超京都 所属。京都造形芸術大学 非常勤講師。

福井哲也  
ふくい てつや

1958年生まれ。生まれつき強度弱視で、10歳ごろ全盲となる。2001年、社会福祉法人日本ライトハウスに入職。点字出版部門で点字図書の編集・校正に携わる。特に、触る図を含む小・中・高校の点字教科書の製作に関わっている。触って楽しめる博物館などをいつも探している(道具や機械のメカ、建築物の模型等に興味あり)。

坂田佐武郎  
さかた さぶろう

1985年京都市生まれ。京都造形芸術大学 情報デザイン学科を卒業後、3年間graf(大阪)にてデザイナーとして勤務し、2011年に独立。2018年、写真家・成田舞とNeki inc.を設立。京都を拠点に主にグラフィックデザインの分野で活動。「ひらきまつり!」のチラシデザインを担当。



手だけが知ってる美術館  
第3回 ニーノ・カルーソの陶芸

イタリア現代陶芸の代表作家ニーノ・カルーソ(1928-2017)の作品を、当館研究員や参加者のみなさんとお話ししながら手で触れてじっくり鑑賞します。作品の質感や大きさ、制作プロセスをさわって学び、カルーソ作品の魅力を身体で感じてみませんか。視覚に障害のある方のご参加も歓迎します!

日 時 | 2月8日(土) 10:30-12:00  
会 場 | 京都国立近代美術館  
対 象 | 小学生以上、どなたでも  
定 員 | 20名(事前申込制、希望者多数の場合は抽選)  
参加費 | 無料(ただし、「ニーノ・カルーソ展」の観覧券を事前にご準備ください)  
申 込 | 要事前申込。詳細は左下の「イベント申し込み方法」をご覧ください。

展覧会「記憶と空間の造形 イタリア現代陶芸の巨匠 ニーノ・カルーソ」についてはこちらから <http://www.momak.go.jp/Japanese/exhibitionArchive/2019/435.html>

齋藤名穂 講演会「五感と記憶がつくる建築・空間」

フィンランド視覚障害者協会の複合施設に制作した「目の見える人と見えない人が一緒に読む地図」(2014)が、私がミュージアムの仕事を始めたきっかけです。そこから、フィンランドと日本で、さわる地図やさわるコレクション、建築空間をテーマにしたワークショップ、展覧会の会場構成と、様々な形でミュージアムのデザインに関わってきましたが、その根底には、他者と自分の空間認識は異なる、というさわる地図を通した発見があります。身体スケールやシークエンスを展示に組み込んでいくこと、作品と建築空間の関係性など、建築家がミュージアムでデザインする時、それはアウトプットのスケールに関係なく、持ち込める視点があると思って日々仕事をしています。それはつまり、ミュージアムでの鑑賞体験を日常空間へどうつなげていくかをデザインすることだと思うのです。(齋藤)



日 時 | 2月8日(土) 16:00-18:00  
会 場 | 京都国立近代美術館 1階講堂  
定 員 | 80名(当日15時から1階受付にて整理券配布)  
参加費 | 無料  
講 師 | 齋藤名穂(建築家・UNI DESIGN)

Photo : Hideki Ookura



日 時 | 2月8日(土) 16:00-18:00  
会 場 | 京都国立近代美術館 1階講堂  
定 員 | 80名(当日15時から1階受付にて整理券配布)  
参加費 | 無料  
講 師 | 齋藤名穂(建築家・UNI DESIGN)



トーク&ワークショップ  
音のズームレンズ Otenna(オンテナ)を使って  
岡崎まちあるき!



流れる水、踏む小石がもつ「音の形」を感じてみよう。音を振動と光に変換して伝えてくれるOtenna(オンテナ)。日常に潜む音をひろってくれるOtennaは、まるで音のズームレンズです。開発者の本多達也さんに開発の思いを伺いながら、一緒に岡崎公園を巡ります。※手話通訳あり

日 時 | 2月9日(日) 10:00-12:00  
会 場 | 京都国立近代美術館 1階講堂ほか  
対 象 | 小学生以上、どなたでも(聴覚障害のある方の参加も歓迎します)  
定 員 | 30名(事前申込制、希望者多数の場合は抽選)  
参加費 | 無料  
講 師 | 本多達也(Otenna プロジェクトリーダー)  
申 込 | 要事前申込。詳細は左下の「イベント申し込み方法」をご覧ください。

本多達也

ほんだ たつや

1990年 香川県生まれ。大学時代は手話通訳のボランティアや手話サークルの立ち上げ、NPOの設立などを経験。人間の身体や感覚の拡張をテーマに、ろう者と協働して新しい音知覚装置の研究を行う。2014年度末踏スーパークリエータ。2019年度キッズデザイン賞 特別賞。2019年度グッドデザイン賞金賞。



萌えいずる声  
百瀬文《聞こえない木下さんに聞きたいいくつかのこと》  
上映・シンポジウム

わたしたちの生活は声とともにあります。会話をはじめ、映画・アニメーションや歌謡のように、声は人間の表現・意思と深い関係を築いてきました。その一方で、わたしたちはスマートフォンを手に入れ、インターネットや映像・音響技術の発達によって、ほかの音が聞き消えるほどの大声が響き渡る場、強制的に声を発せられている場も身近に感じられるようになりました。そこには、声をめぐる静かな絶望も横たわっています。このように、声はますます複層的な姿を現しています。そこで、声と身体・意思・空間のありようを新たな角度で検証することを目的に、上映とシンポジウムを開催します。まず、ろう者(手話を主なコミュニケーション方法とする人たち)と聴者が声によって語り合う映像である、百瀬文《聞こえない木下さんに聞きたいいくつかのこと》を上映します。つぎに、作家と3名のコメンテーターによる指定発言と討議を行います。※手話通訳、文字通訳あり

日 時 | 2月9日(日) 13:00-17:00(開場12:30)  
会 場 | 京都国立近代美術館 1階講堂  
定 員 | 100名(当日12時から1階受付にて整理券配布)  
参加費 | 無料  
主 催 | 京都大学大学院 人間・環境学研究科 岡田温司研究室  
共 催 | 新たな美術鑑賞プログラム創造推進事業実行委員会、京都国立近代美術館  
登壇者 | 岡田温司(京都大学大学院教授)、木下知威(日本社会事業大学)、黒奇想(批評家)、百瀬文(映像作家)

※手話通訳や文字通訳が必要な方は、2月3日(月)までにお問い合わせ先へご連絡ください。

京都国立近代美術館

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町  
TEL : 075-761-4111(代表)  
WEB : [www.momak.go.jp/senses](http://www.momak.go.jp/senses)

アクセス

京都市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ  
「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車徒歩約5分  
「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約10分  
地下鉄東西線「東山駅」下車徒歩約10分

